

北海道洞爺湖サミットは環境サミット

人間生活と自然との調和・共存をめざして



《《北海道洞爺湖サミットは次代を担う環境サミット》》

北海道洞爺湖サミットは、環境サミットとして位置づけられ、人間生活と自然との調和・共存をめざして7月7日～9日に北海道洞爺湖町で開催されます。

北海道は、雄大な北国の自然景観や多様な野生生物が生息する良好な自然環境を有しており、大切な資産として次世代に引き継いでいくことは、我が国にとっても大きな課題であるとの認識のもと、釧路開発建設部では、従来より環境への負荷を軽減させるよう配慮し事業を展開しております。

ここでは、当部が実施している様々な取組の一部をご紹介します。

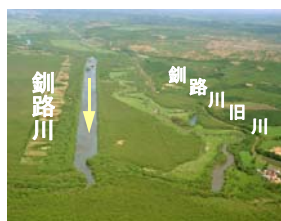
釧路湿原自然再生・茅沼地区旧川復元事業

釧路湿原は、日本最大の湿原で全国の約6割の面積を誇り、特別天然記念物のタンチョウが生息するなど、将来にわたって保全すべき貴重な財産です。しかし、流域の経済活動の拡大に伴い、近年60年間で湿原面積の約3割が減少し、また、土砂などが湿原に流入した結果、乾燥した場所に生育するハンノキ林が約4倍に拡大するなど、量的・質的に著しい速度で変化をしていると言われています。

平成15年には自然再生推進法に基づく「釧路湿原自然再生協議会」が設立され、平成17年には「釧路湿原自然再生全体構想」が策定され、流域住民、専門家、NPO、関係機関等の連携・協働により、釧路湿原保全・再生のための各種施策を推進しています。

釧路開発建設部では、湿原中心部へ流出する土砂を軽減すること、湿原植生(ヨシ・スゲ類)の再生、魚類の生息環境の復元、湿原景観の復元を目的に、茅沼地区の旧川復元事業を実施しています。

茅沼地区旧川復元事業のイメージ



現在（旧川復元前）

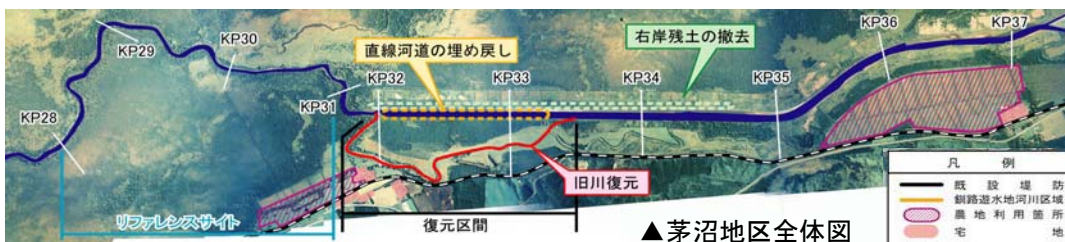
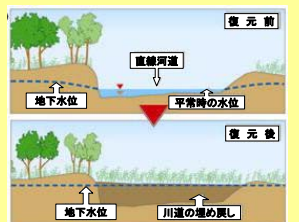


将来（旧川復元後）

実施内容

直線河道の埋め戻し

●主な効果：地下水位の上昇



旧川復元 ●主な効果：氾濫頻度の回復、魚類の生息環境の回復



右岸残土の撤去

●主な効果：
右岸側への氾濫を回復



告知

釧路川堤防の刈草

お申し込みの締め切りは
平成20年7月18日(金)

を希望者に無償提供！



釧路河川事務所では、釧路川及び標津川堤防保護と河川環境の保全を目的に、堤防除草工事を実施しており、その際に発生する刈草を無償で希望者に提供します。

刈草の無償提供を行うことにより、廃棄物処理費用の軽減とともに、「家畜の敷きわら」等に有効活用できる資源として循環型社会の形成への一助となると考えこの取組を実施しています。

お申し込み・お問い合わせ先

釧路河川事務所 計画課維持補修係
0154-38-8300(内線35)



注 引渡条件と注意事項

- 堤防河川敷地に集草してある刈草を自ら積込・運搬できる方。
- 転売目的としない使用に限ります。
- 刈草には、ゴミ等や異物が混入する場合があります。(除草前にゴミ等の除去を実施しますが、混入する場合があります。)
- 申し込みにあたっては希望する使用量、使用目的をお知らせください。なお、量に限りがありますので、希望者多数の場合は調整させていただく場合があります。

★ 引渡場所と引渡時期

時期 平成20年7月下旬、9月の2回

場所 新釧路川・釧路川の河川敷
 ・釧路市(新釧路川の鶴見橋上流)
 ・標茶町(開運橋～とさわ橋)
 ・弟子屈町(下トウ別橋下流、万翠橋下流、由香里橋～摩周大橋)

環境保全型かんがい排水事業

環境保全型かんがい排水事業は、農業生産性の向上と併せて、環境との調和に配慮した環境保全型農業の確立を目指した事業です。

農業用水に牛のふん尿を混ぜてスラリーを作り牧草畑にまくことで牧草生産性の増加と、ふん尿の適正な管理により野積みなどによる河川等への流出を防ぎます。また、降雨による牧草畑のたん水※や湿害を解消する排水路に、遊水池や土砂緩止林を設けた浄化型排水路は、土砂や余分な窒素・リンなどが直接排水路や河川に流出するのを防ぎます。

このように、環境にやさしい農業を目指しています。



環境保全の取組への理解を深めるため、土砂緩止林の苗木づくりと植樹や排水路に生息する生き物の調査を、地域の幼稚園、小中学校・高校の皆さんと協働して行っています。

ひばい しせつ 肥培施設

用水路から送られた農業用水と牛のふん尿を混ぜてスラリーを作り、貯留する施設です。ふん尿の活用により効果的なりサイクルを行うとともに、ふん尿の野積みなどによる河川等への流出を防ぎます。

じょうかがた はいすいろ 浄化型排水路

降雨による牧草畑のたん水※や湿害を解消し、牧草の生産性の向上とともに、遊水池や土砂緩止林による水質浄化等の機能を併せ持つ排水路です。排水路に流入する土砂や余分な窒素・リンなどが直接河川等に流下するのを防ぎます。

※たん水：農地の地表に水がたまること。

釧路港(西港区)はエコポートモデル港

エコポートは新しい海域自然環境の創出を目指し、その環境及び生物生息域との共存が図られる港湾海域づくりを行う事業です。

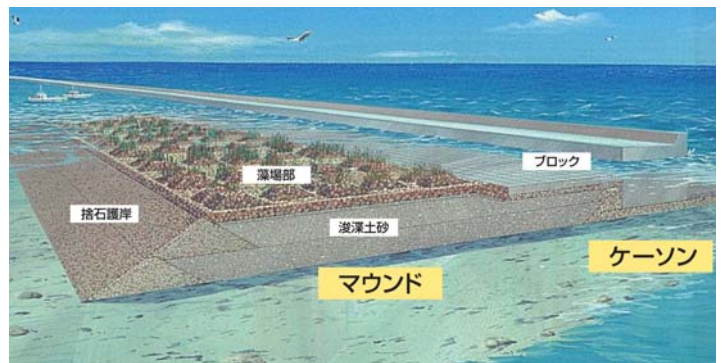
さらにはこの事業が今後の港湾事業の模範となるよう全国に先がけ、先進的な港湾環境基盤形成に向けた整備を総合的に行うもので、釧路港(西港区)はエコポートモデル港に選ばれています。

海洋生物は海流の変化にも敏感です。このため防波堤の整備による海流の変化や生息環境の変化をより少なくするため、これまで整備してきた防波堤をそのまま延伸するのではなく、新たに島防波堤を配置する方法を採用しています。



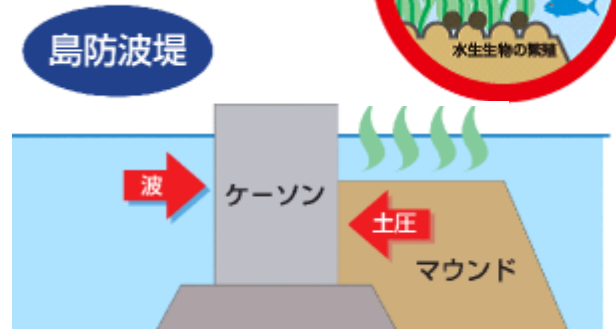
船の航行にも、海の生物にもやさしい「くしろ・海文化」の発信です。

新しい「くしろ・海文化」の創造・発信



エコポートモデル事業(島防波堤)イメージ

海深のより浅いマウンドに十分な日の光が届くため、昆布の生息とそれに伴う水生生物の繁殖が期待されます。



北海道洞爺湖サミット

※印がついたものは
「北海道洞爺湖サミット
おもてなしクリーンアップ運動」

おもてなしクリーンアップ運動

北海道洞爺湖サミット道民会議、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局、北海道地方環境事務所及び北海道の六者では、北海道洞爺湖サミット・おもてなしクリーンアップ運動実行委員会を設置し、全道的なサミットに対する気運醸成と、よりよい環境で来道者を迎えるため、これまで率先して取り組んできた活動団体の協力を得て、「北海道洞爺湖サミット・おもてなしクリーンアップ運動」として全道的な清掃活動や普及啓発活動を展開しており、釧路開発建設部においても一体となって展開しております。「おもてなしクリーンアップ運動」以外にも様々な取組を実施していますので、ここで併せてご紹介します。

釧路・根室地域「道の駅」クリーンアップ大作戦を行いました※

背景

『釧路・根室地域「道の駅」連携会議』（平成20年2月設置）

観光等によりもたらされるゴミの処理やポイ捨て対策は、道の駅の運営上の大きな課題

趣旨

ゴミ問題解決につながる取組として、より良い環境で利用者を迎え、“ゴミのないクリーンな道の駅”をアピールすることで、“ゴミを捨てさせない環境づくり”を目指し清掃活動を実施

実施状況

6つの道の駅で、関係行政、道の駅運営団体などにより、連続して清掃活動を展開しました

4月23日	厚岸グルメパーク	20名程度
	スワン44ねむろ	10名程度
4月24日	しらぬか恋間	25名程度
	知床・らうす	40名程度
4月25日	阿寒丹頂の里	15名程度
4月26日	摩周温泉	15名程度

綺麗な北海道へお招きするため、皆さん熱心にゴミを拾ってます



厚岸グルメパーク



スワン44ねむろ



しらぬか恋間



知床らうす



阿寒丹頂の里



摩周温泉

浄化型排水路における別海高校植樹会

平成20年6月18日(水)に別海町第五清丸別排水路遊水池において、別海高校酪農科の皆さんと、植樹を行いました。この活動は浄化型排水路の整備として行っています。



シーサイドクリーンプロジェクト

ふるさと根室協働事業

平成20年5月18日(日)に根室市桂木海岸・友和海岸で、職員が根室市、釧路土現や住民の皆さんと一緒に、安らぎの場である海岸を保全するため、散乱するゴミの清掃活動を行いました。

摩周湖クリーンウォーク2008※

平成20年6月7日(土)に弟子屈町主催の「摩周湖クリーンウォーク2008」が開催されました。この取組は観光名所の弟子屈町摩周湖、硫黄山及び屈斜路湖周辺の町道、道道や国道に捨てられている空き缶や紙くずなどの散乱ゴミの回収をウォーキングを楽しみながら行うもので、当部の職員も参加しました。観光客も多く立ち寄る観光名所周辺の道路をきれいにし、おもてなしの用意ができました。



海と空のフラワーポートづくり

釧路市民協働事業

平成20年5月17日(土)に釧路港(MOO周辺)及び釧路空港で行われた釧路市主催のフラワーポートづくりに職員が参加しました。海と空の玄関口を花と緑で飾り、市民や観光客の皆さんに美しい釧路をアピールします。



花と緑の彩りで北海道を飾りおもてなします

【編集・発行】 北海道開発局 釧路開発建設部 広報官

〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎 TEL 0154(24)7000 FAX 0154(24)7100

釧路開発建設部ホームページ: <http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/>